

授業科目 在宅看護学

【担当教員名】 丸山 敬子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

急速な高齢化・家族構造の変化・人々の健康意識の変化・医療費削減・在院日数の短縮化によって、在宅ケアのニーズは増大している。それに伴い、看護職に求められる能力も複雑で高度化してきている。こうした背景をふまえ、在宅看護学では、保健・医療・福祉の有機的な連携を基盤として、在宅療養をしている人とその家族を「地域で生活すること」「その人らしく生きること」に視点をおいて理解する。また、地域保健医療福祉活動のなかの在宅看護の位置付けや役割を学習するとともに、今後の課題や展望について考察する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

- 1 在宅看護が必要とされる背景を述べることができる
- 2 在宅看護の対象となる個人と家族の特性、コミュニティとのつながりについて述べるができる
- 3 在宅看護における倫理と関係する理論について述べるができる
- 4 保健医療福祉対策、在宅ケア提供施設、ケア体制について述べるができる
- 5 在宅看護の今後の課題と展望について述べるができる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会の諸情勢の変化と在宅ケアニーズの動向・在宅看護学とは	1・2	講義・グループワーク
2	在宅看護の歩みと在宅看護の役割・法律・制度	1・2	講義・グループワーク
3	在宅看護の特徴・生活の場における看護	2	講義・グループワーク
4	在宅療養者の理解	2・3	講義
5	在宅療養者の家族、介護者の理解とコミュニティ	2・3	講義
6	在宅看護の活動の場と在宅ケアシステム・リスクマネジメント	4	講義
7	在宅看護の倫理と人間関係作り（信頼関係形成と意思決定への援助）	3・5	講義・グループワーク

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	Essentials 在宅看護学	木下由美子	医歯薬出版株式会社	2007 2600円
参考書	国民衛生の動向	厚生統計協会		2400円
その他の資料	必要に応じて配布する			
【評価方法】 出席・提出物30% レポートあるいは筆記試験70%	【履修上の留意点】			

看護学
科
専
門